

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス からふる田辺		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年11月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年11月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職の職員を中心とした支援を実施し月に一度、常勤スタッフ全員での一月の評価会をしており、児童各々の支援の修正をしながら支援をしている。その中で専門職からの発言など支援の方法が変わってきている。 ・保護者様への説明の仕方が丁寧である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所会議という場での自分が知っている知識の発信の機会を設けたり、スタッフ同士が日々、児童の気になったところを話合っている。 ・保護者様の話を共有をすぐに行い、対応を心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児発管もその中の中心となる為に研修や自分の経験の発表の場を設ける。 ・どのスタッフにも相談話せる関係性を保護者様と作る。
2	スタッフ間同士が話やすい環境にあり、日々意見交換ができています。	朝礼時や終礼時に今日の予想できること相談や本日あったことの振り返りを話し合っており、その為のツールも生かして、誰にでも見える化している。	情報のやり取りが特定のスタッフまでにしきっていない時があるので、そこを誰にでも話せるように、伝わりやすいようにできれば。
3	児童の遊び方や児童同士との関わり方が変わってきて、少しずつではあるが、自由時間でも小集団での遊びが出てくるようになってきた。	スタッフがまず、遊びのきっかけ作りをしたり遊びの固定化をせずに遊びに色々な選択を持たせて遊んでいる。	その遊び方が誰しもができるように遊ぶ時のポイント等の共有。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の事に集中してしまうがあまりに時折周りが見えなくなっている時がある。 ・保護者様の対応がスタッフによって違いがある。(感情面の対応の表出がある。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務スケジュールや業務のバランスが偏ってしまっていることが原因。 ・保護者様の話を支援者としての視点を上から観ているところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各々の業務のスケジュールを一人のスタッフが管理するのではなく、全体で共有できるような掲示を作る。 ・保護者様の話を聞きながらも折衷案を定時出来るようになる為のデモンストレーションが必要。
2	先の危機管理などの意識の薄さ。	危機管理の基準がスタッフによってバラバラでここまで大丈夫だろうの意識が多い。	危機管理に関する研修を行い、スタッフ間の意識を共有させる。
3	業務の優先順位が明確ではない。	自分の業務の時間配分だったり、相手の業務の時間配分が分かっていない。	今日の業務時間を明確な数字で目標を持たせたらうて業務にあたるようにしていき、時間に間に合わなかった時には何が足らなかったのかを話し合う機会を設ける。

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日:

事業所名: 児童発達支援 児童デイサービス からふる田辺

対象人数(保護者)7人 回答者数 6人 回収 85.7%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6			
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	6			
	③	支援空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6			
	④	支援空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6			
適切な支 援の提 供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6			
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6			
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	6			
	⑧	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6			
	⑨	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	1		
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	1		
保護者へ の説明等	⑪	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2		2	2
	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6			
	⑬	「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6			
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5			1
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6			
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6			
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	1		
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5			1
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6			
	⑲	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6			
非常時等 の対応	⑲	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6			
	⑲	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6			
	⑳	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1		
	㉑	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1		1
満足度	㉑	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	1		
	㉒	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6			
	㉓	こどもは安心感をもって通所していますか。	5	1		
満足度	㉓	こどもは通所を楽しみにしていますか。	5	1		
	㉔	事業所の支援に満足していますか。	6			

事業者向け 令和7年度 児童デイサービス からふる田辺 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			環境整備のすることで動線等を整えている。	
	2	職員の配置数は法令上の基準を満たしているか？	8				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	2		常勤スタッフからパートスタッフへの意図のすり合わせがあまり出来ていないのでそれを誰がいつするのかを決める。	振り返り回数が少ないため、コミュニケーションの向上が必要。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	7		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	2		研修の意図を再度パートスタッフへ伝える。	研修をしたことを増えてのアウトプットをしていくべきでは
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7		1		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1	1		目標達成の標準化を具体的にたづななければ。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2	1	必ず事業所会議時どのような事をするかを共有し、児童の特性に合わせて立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		1		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	1			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8				
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	3			送迎の関係などで終業時間ギリギリになってしまい、出来ていない日もあった。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	2	1	記録をつけれる時間を決める。		

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7		1		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7		1		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1	1		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	1	1		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	2	3		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	4	1		現在の情報が多く過去の標準化されたものが少ないより情報集が必要
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	3	1		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	3	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			8		地域へ出向くことはあるものの場所に来てもらうようには行っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		3	5		積極的な地域への宣伝。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		1		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	1	1		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7		1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7		1		

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	2		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		1	
	35	個人情報に十分注意しているか	7	1		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2		6	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7		1	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	1	1	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	2		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7		1	